

## 石巻健育会病院 其田 静江(副科長/栄養科)

功 績	前回診療報酬改定から、一つ一つの患者視点の積み重ねが収入増並びに経費削減につながり予算達成の一因となった功績。
推 薦 者	千葉 祐輔(医事課長/医事課)
推 薦 理 由	管理栄養士の関り方の重要性の高まりとともに、日々の業務が、病院運営と患者支援に貢献していることの現れであり、また、結果につながったものと考え、理事長賞に推薦させていただきます。

### 内 容

---

患者満足度の食事評点を向上させる目標の下、嗜好調査による患者さんのご意見の導入、バリエーションに富んだ四季彩御膳の提供、おやつ回数増等患者さんに満足して頂けるよう試行錯誤を続けてきました。様々な活動が実を結び、喫食数が増加(18年度126,950食→19年度127,991食→20年度133,365食)していき一方で、逆に常食の単価も減少(18年度212.5円→19年度220.2円→20年度216.4円)させました。業者との価格交渉、月末在庫の定数管理による不要在庫の撤廃も仕組み化され、コロナ禍において、医療原価の数値が読みにくい中、給食材料費は毎月、予算対比マイナスと安定した管理ができています。また、流動食に関してもSTとの協働による経口への誘導やコストの見直しとNST委員会を通じて医師へ高リスク患者さんの適正必要量の介入・提案を行う事で、食数とコストの減少(18年度 36,061食 111.1円→19年度 34,888食 104.3円→20年度 33,000食 102.9円)にも繋がっています。

医事課として嬉しかったのが、栄養士として病院運営にどう貢献をしていくかも常に考え、令和2年度の診療報酬改定で管理栄養士の行っている業務が加算となる事を受け、入院・外来栄養指導料がR1年度103件だったの対し、R2年度は2月時点で253件と、倍増し40万円弱の増収につながった事です。

見えない効果として、低栄養が改善され、経口摂取に変わった事で、当院退院後の医療介護機関の選択肢も大幅に増え、相談員とご家族の負担軽減にもつながっている事例がございます。